

## 1. 病棟の具体的な目標と評価

### 1)安全で質の高い看護を提供する

病棟内の勉強会については、計画通り20回の実施ができた。内容は、薬剤師による簡易懸濁法や言語療法士による食事介助についてなど、今後の看護に活かせるものとなった。看護職の倫理綱領からテーマを抽出し、倫理的課題と問題点、解決策を事前課題としてカンファレンスを実施した。「認知症患者のナースステーションでの過ごし方」について患者の思いを重点的に取り上げ、家族や実施している看護師の思いも引き出し、良い振り返りとなった。また看護を語る会については、全スタッフを前期後期で分割し、患者に接する時に大切にしていることと、目指す看護師像をそれぞれ記載し、ナースステーション内に掲示した。他者の思いや考えに触れる場となった。

### 2)病院経営に参画する

一日平均入院患者数 21.4 名、病床利用率月平均 70.1%、在宅復帰率月平均 84.4%であり、入院患者数と病床利用率は目標達成できなかった。多職種カンファレンスで患者の状態や患者の希望する退院先等を話し合い、どのような援助が必要であるか確認をして患者の希望に添えるように看護介入ができています。在宅患者の状態変化時にケアマネジャーと連携を取り、スムーズに入院受け入れができる関係性の構築を目的に病棟紹介パンフレットを作成したが、活用は十分できていない。看護必要度は、平均 20.7% (目標値 3 ヶ月平均 12%以上)であり、毎月 A 項目入力とカルテの記載の相違がないか確認できている。認知症ケア加算の算定漏れがないように看護計画評価時に適切に介入している。SPD ラベルの紛失に関しては、紛失率 0.66%で年間 10 枚の紛失であった。昨年度より紛失枚数は減少しているが、紛失率0%は達成できなかった。

### 3)患者の視点に立った医療安全を推進する

転倒転落インシデント件数は 39 件であり前年度 31 件であったため前年度より増加しており、目標は達成できていない。0 レベルインシデント報告件数は 35 件であり前年度 49 件であったため報告件数は減少している。薬剤インシデント件数は、87 件であり、前年度 93 件であったため微減している。3b レベル事例が 3 件発生しており、転倒による骨折と安静臥床時の股関節の脱臼事例などである。転倒転落事例に対し RCA 分析を行い、患者の状態及び環境の変化に早期に対応できるように適宜カンファレンスを行い相互共有していく必要性をスタッフで確認できた。手指消毒剤使用量アップを目標に、手指消毒剤の携帯を各個人必須とした。1 患者 1 日あたりの使用回数は平均 8.7 回であり、前年度の 7.7 回より増加した。COVID19 のマニュアルについては、毎月の感染対策委員会内で話し合い改訂した。新規褥瘡発生件数は 6 件であり、前年度 17 件より減少した。看護研究で褥瘡発生予防に関する意識調査を行うことで、スタッフの意識の改善がみられたことが影響していると考えられる。

### 4)専門職としての能力開発に努める

レベルⅢ研修に 3 名受講しレベル認定を受けた。他のスタッフに関しては暫定レベルから認定レベルへの変更ができています。看護研究に関しては、当初は 2 年間計画で、過去の入院患者の褥瘡パターンをデータ収集し、当院での傾向を調査する予定であったが、患者の同意が必要になったためスタッフへの意識調査の内容に計画を変更し、1 年で取り組み、院内発表ができた。令和 5 年度の学術集会で発表予定である。

### 5)看護の先輩として学生に関わる

実習開始時 3 日間は、必ず朝のミーティング時に実習目標の読み上げを行い、スタッフへの周知を継続した。指導の関わり方についての文書を適宜修正しスタッフに周知した。実習後の満足感や努力ができたかどうかの評価は 5.0 であった。その他の評価も前年度と同様の評価であり、継続した関わりができていますと評価する。

### 6)活気のある職場、元気の出る職場づくりを推進する

超過勤務時間削減対策のアンケートを実施し、各個人の対策を共有することで、意識の変化が見られチームを越えた協力体制ができた。月平均超過勤務時間の提示を年間通して実施し、スタッフへの数値の見える化に取り組んだ。また毎週水曜日のノー残業日の表時をナースステーション内に提示し啓発活動を実施した。その結果、月平均の超過勤務時間は 12.3 時間であり、目標とした 13 時間以内を達成できた。

## 2. 病床運営状況

表 1 令和 4 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
30	内科・外科	19	18	21.4	35.2	70.1	73.4
有料個室		死亡者数(人)	地域包括ケア病床 在宅復帰率(%)				
病床数(床)	稼働率(%)						
8	81.2	20	84.4				

## 3. 看護体制

表 2 令和 4 年度 看護体制(令和 4 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
18	固定チームナーシング <sup>®</sup>	2:2

## 4. 看護統計

### 1)重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 4 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度 II

基準を満たす患 者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		23.5	21.1	18.3	19.1	33.9	25.7	23.2	19.2	13.3	22.2	8.8	20.2

### 2)部署データ

表 4 令和 4 年度 退院時共同指導料算定数

退院時共同指導料 算定数(回)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		2	0	2	0	1	2	4	2	2	2	2

表 5 令和 4 年度 認知症ケア加算算定患者数

認知症ケア加算1日 平均患者数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		5.7	4.0	3.6	3.5	3.7	2.9	3.6	4.3	6.4	4.6	6.2